



会期:5月22日[水]~24日[金]

9:00~16:00

会場:グランメッセ熊本

主催:RX Japan (株)

農業の生産性を向上させる最新のスマート技術がここに集結！

RX Japan(株)は、5月22日(水)~24日(金)、西日本最大級の農業・畜産の総合展「J AGRI KYUSHU (旧:九州 農業WEEK)」を開催する。会場は九州全土からのアクセスが抜群なグランメッセ熊本。昨年は「九州 農業WEEK」という名前で開催したが、今回からは名称が変更となる。本リリースでは、展示会の見どころの一つである最新のスマート技術を紹介する。



現在、食料・農業・農村基本法改正案が参院で審議されている。改正案では、「農業の持続的な発展」を基本理念に掲げ、その実現へ「生産性向上と農産物の付加価値の向上」が明記されている。生産性の向上のためには、スマート技術の導入促進が必要不可欠だ。J AGRI KYUSHUには農業のための最新のスマート技術が集結する。

※出典:日本農業新聞 2024年5月3日 <https://www.agrinews.co.jp/news/index/230323>

取材のお申込みはこちらをクリック

<https://www.jagri-global.jp/hub/ja-jp/press.html>

生産性の向上に貢献！ 出展製品を一部ご紹介

カメラで作物を詳細にスキャン！ 生育状況の分析ができる



Mavic 3 Multispectral (Mavic 3M)は、RGBカメラとマルチスペクトルカメラの2種類のカメラを搭載し、これらのカメラで作物を詳細にスキャンし、作物の生育状況を分析できる。Mavic 3Mは、農業生産管理に必要な高い精度の詳細データを提供し、農業の「見える化」を促進する。

出展社名:島根ドローンサービスセンター(有限会社ヒラオカ)
製品名:DJI MAVIC 3M

ハウス環境のデータはスマホやPCで確認 異常はLINE通知やメールで受け取り



温度、湿度、CO2濃度、飽差などを測定し、測定データは自動でクラウドにアップされ、お手元のスマホやPCからいつでもどこでもデータを確認できる。また、ハウス内の温度異常や制御異常等が発生したらLINE通知やメール、アプリなどご希望の警報連絡を受け取ることができるため、ハウスから離れた場所においても異常を確認して対応することができる。

出展社名:ディーピーティー 株式会社 製品名:e-minori:測定ノード

シンプルな操作で防除作業をマッチング 農作業のマッチングサービス



農作業を「依頼する人」と「受託する人」をつなぐ農作業マッチングサービス。農薬散布を対象とし、オンライン上で、マッチング、依頼・受託、スケジュール・作業管理、決済まで一元的に提供している。依頼者は、ドローン導入や操作習得が不要で、適切な時期に農薬散布を実施できます。一方、受託者は、ドローン等を活用することで、農薬散布を受託し、業務拡大を図ることができる。

出展社名:株式会社 ナイルワークス 製品名:【農作業マッチング】フリッジブースト

取材のお申込みはこちらをクリック

<https://www.jagri-global.jp/hub/ja-jp/press.html>

▼次ページで展示会場で開催するセミナー講演を一部ご紹介

会場では業界の著名人による セミナー講演(無料)を毎日開催！一部をご紹介します

クボタのスマート農業の現状と将来展望



(株)クボタ 特別技術顧問 工学博士
飯田 聡

5月22日(水)
12:00~13:00

クボタでは就農人口の減少等の日本農業の課題を解決するために、スマート農業技術(データ活用による精密農業(KSAS)、自動化・無人化による超省力化技術など)の開発と普及に取り組んできた。本講演ではその開発状況と将来展望について説明する。

九州農業のさらなる発展



九州農政局 局長
北林 英一郎

5月23日(木)
10:00~11:00

農業は「国民の生命に欠かせない食料を安定的に供給する」重要な役割を担っており、九州農業は全国農業産出額の約2割を占めている。その様な中で、農業従事者の高齢化、農業経営体の減少、気象変動による農業への影響など農業を取りまく課題に対する農林水産省の対応を紹介。

持続的な農業を可能にするスマート農業



北海道大学大学院農学研究院 農学研究院長
野口 伸

5月23日(木)
12:00~13:00

スマート農業には労働力不足の解消、農作業技術のデータによる継承など数多くのメリットがある。さらに、昨今の環境・エネルギーの面で持続性の確保についても貢献できる。本講演では生産性向上と持続性の両立を可能にするスマート農業の先端技術について論じる。

※一部抜粋。敬称略。セッションの録音、写真・動画撮影などは一切禁止。都合により講師、プログラムの内容に多少の変更が生じる可能性あり。

取材のお申込みはこちらをクリック

<https://www.jagri-global.jp/hub/ja-jp/press.html>

本リリースのお問合せ先:RX Japan(株) J AGRI 事務局 広報担当

TEL:03-6739-4111 Mail:jagri-press.jp@rxglobal.com